

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第51週の発生動向

□ トピックス

感染性胃腸炎（定点把握対象）：県内の定点当たり報告数が24.1と流行警報レベル(20.0)を超えました。例年より流行のピークが遅く、年末年始注意が必要です。詳細後述。

□ 全数報告の感染症（51週までに新たに届出のあったもの）

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核7例。3類感染症：報告なし。

4類感染症：つつが虫病6例、日本紅斑熱1例。

5類感染症：播種性クリプトコックス症1例、梅毒1例。

	疾患名	報告 保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	20 歳代	男	無症状病原体保有者	—
			30 歳代	女	無症状病原体保有者	—
			30 歳代	男	疑似症患者	痰
			30 歳代	女	無症状病原体保有者	—
			60 歳代	女	無症状病原体保有者	—
			60 歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱
		日南	90 歳代	女	肺結核	咳、痰、発熱
4類	つつが虫病	宮崎市	70 歳代	女	患者	頭痛、発熱、発疹
			80 歳代	男	患者	発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹
			80 歳代	男	患者	発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹
		小林	60 歳代	女	患者	頭痛、刺し口、発疹
			70 歳代	男	患者	発熱、発疹
			80 歳代	男	患者	頭痛、発熱、刺し口、発疹、肝障害
	日本紅斑熱	日南	70 歳代	女	患者	発熱、発疹
5類	播種性 クリプトコックス症	宮崎市	70 歳代	男	患者	発熱、意識障害、項部硬直
	梅毒	都城	20 歳代	女	無症状病原体保有者	—

□ 定点把握の対象となる5類感染症

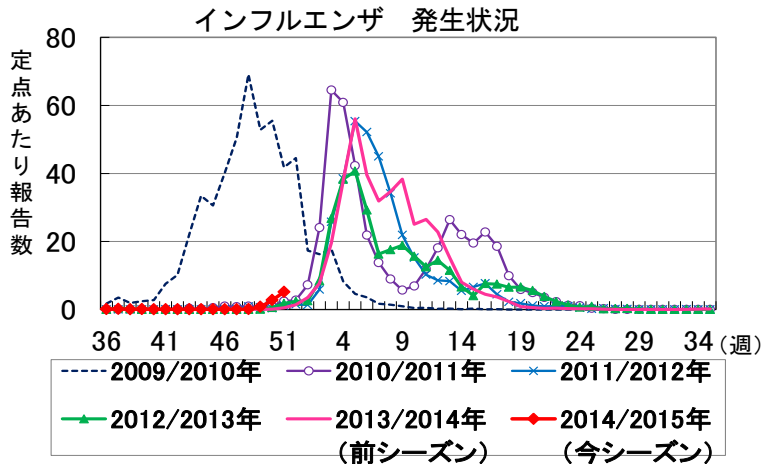
・定点医療機関からの報告総数は1,503人(定点あたり40.1)で、前週比119%と増加した。前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌と手足口病であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

・報告数は305人(5.2)で、前週比188%と大幅に増加した。例年同時期の定点あたり平均値*(1.3)の約3.9倍であった。年齢別では5歳未満が全体の11%、5-9歳が23%、10-14歳が36%、15-19歳が8%、20-59歳が18%、60歳以上が4%を占めた。

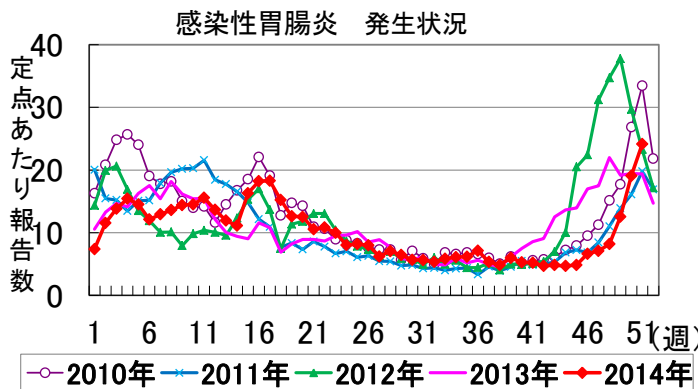
* 過去4年間の当該週、前週、後週(計12週)の平均値



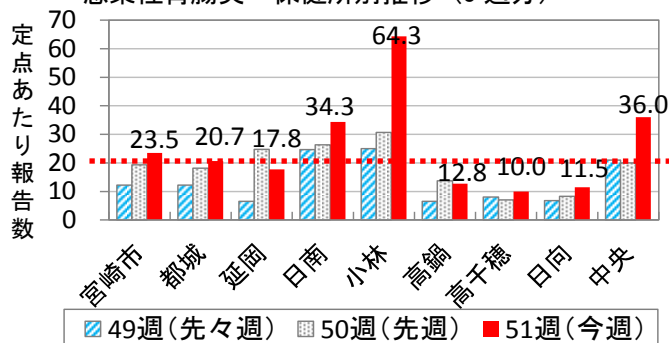
【感染性胃腸炎】

・報告数は869人(24.1)で、前週比126%と大幅に増加した。例年同時期の定点あたり平均値*(19.2)の約1.3倍であった。小林(64.3)、中央(36.0)、日南(34.3)保健所からの報告が多く、年齢別では1~2歳が全体の約4割を占めた。

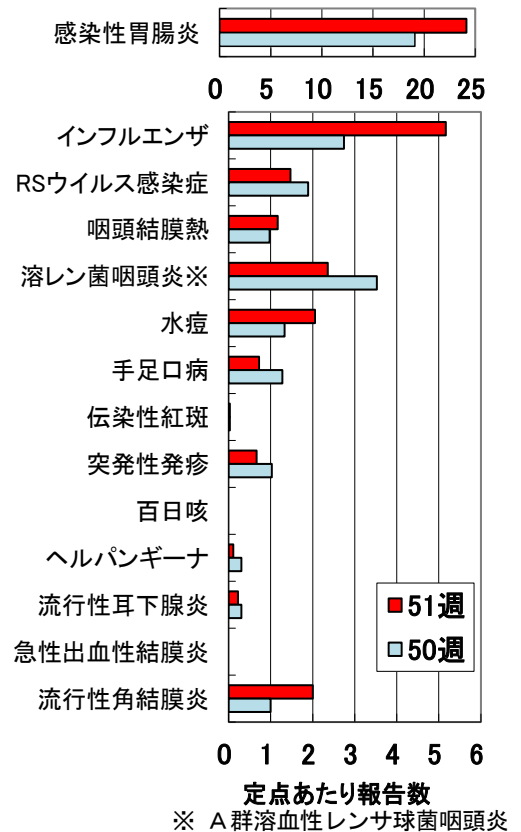
* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



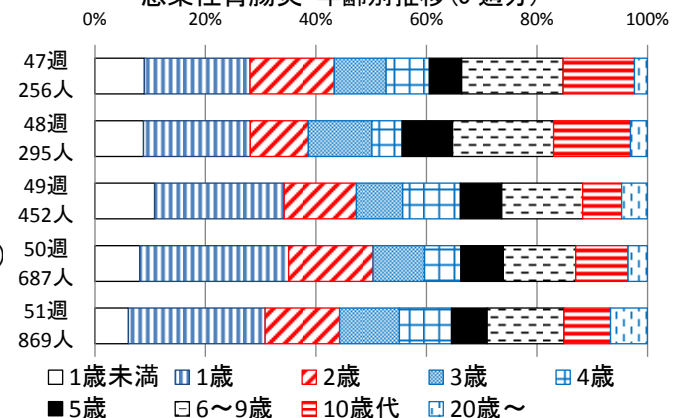
感染性胃腸炎 保健所別推移 (3週分)



《前週との比較》



感染性胃腸炎 年齢別推移 (5週分)



★流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	感染性胃腸炎(23.5)
都城	感染性胃腸炎(20.7)
延岡	水痘(8.5)
日南	インフルエンザ(25.0)、咽頭結膜熱(3.7)、 感染性胃腸炎(34.3)
小林	感染性胃腸炎(64.3)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	感染性胃腸炎(36.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・水痘(7.0)

※流行注意報レベル基準値※

- ・インフルエンザ(10.0)

📊 全国第 50 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 50 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	341 例				
3類感染症	細菌性赤痢	6 例	腸管出血性大腸菌感染症	44 例		
4類感染症	E型肝炎	3 例	A型肝炎	1 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例
	つつが虫病	18 例	デング熱	3 例	日本紅斑熱	2 例
	マラリア	1 例	レジオネラ症	28 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	12 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	9 例
	急性脳炎	9 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5 例
	後天性免疫不全症候群	23 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	27 例	水痘（入院例）	3 例
	梅毒	17 例	播種性クリプトコックス症	2 例	風しん	2 例
	麻しん	2 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関あたりの患者報告総数は前週比 125%と増加した。今週増加した疾患はインフルエンザとRSウイルス感染症で、減少した主な疾患はヘルパンギーナであった。

インフルエンザの報告数は36,455人(7.4)で、前週比211%と増加した。埼玉県(18.8)、岩手県(15.8)、北海道(14.3)からの報告が多く、年齢別では5歳未満が全体の約13%、5～9歳が34%、10～14歳が30%、15～19歳が4%、20～59歳が16%、60歳以上が3%を占めた。

RSウイルス感染症の報告数は8,180人(2.6)で、前週比119%と増加した。徳島県(7.9)、福島県(7.0)、宮城県(4.8)からの報告が多く、年齢別では6ヶ月～1歳が全体の約半数を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2014年 第51週(12月15日～12月21日)

疾病名		第50週	第51週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	162	305	100	30	3	125	12	24	2	2	7
	定点あたり	2.75	5.17	6.25	3.00	0.43	25.00	2.40	4.00	1.00	0.33	3.50
RSウイルス 感染症	報告数	68	53	23	15	4		3	4		4	
	定点あたり	1.89	1.47	2.30	2.50	1.00	0.00	1.00	1.00	0.00	1.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	35	42	8	9	7	11		4	1	2	
	定点あたり	0.97	1.17	0.80	1.50	1.75	3.67	0.00	1.00	1.00	0.50	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	127	85	40	7	9	3	1	8		14	3
	定点あたり	3.53	2.36	4.00	1.17	2.25	1.00	0.33	2.00	0.00	3.50	3.00
感染性胃腸炎	報告数	687	869	235	124	71	103	193	51	10	46	36
	定点あたり	19.08	24.14	23.50	20.67	17.75	34.33	64.33	12.75	10.00	11.50	36.00
水 痘	報告数	48	74	8	11	34		4		1	14	2
	定点あたり	1.33	2.06	0.80	1.83	8.50	0.00	1.33	0.00	1.00	3.50	2.00
手足口病	報告数	46	26	1	17	1	4	2	1			
	定点あたり	1.28	0.72	0.10	2.83	0.25	1.33	0.67	0.25	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	1	1				1					
	定点あたり	0.03	0.03	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	37	24	9	4	1	1	1	4		4	
	定点あたり	1.03	0.67	0.90	0.67	0.25	0.33	0.33	1.00	0.00	1.00	0.00
百 日 咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	11	4	3			1					
	定点あたり	0.31	0.11	0.30	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	11	8	2		3					1	2
	定点あたり	0.31	0.22	0.20	0.00	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	2.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	6	12	11		1						
	定点あたり	1.00	2.00	3.67	0.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点：59、小児科定点：36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点：6、基幹定点：7

上段：報告数
下段：定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2014年第1週～51週)

2類感染症	結核	244例(7)				
	腸管出血性大腸菌感染症	31例				
4類感染症	E型肝炎	3例	A型肝炎	15例	重症熱性血小板減少症候群	11例
	つつが虫病	27例(6)	日本紅斑熱	7例(1)	ボツリヌス症	1例
	レジオネラ症	13例				
5類感染症	ア메ーバ赤痢	5例	ウイルス性肝炎	2例	カルバペネム腸内細菌感染症	3例
	急性脳炎	5例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例
	後天性免疫不全症候群	13例	ジアルジア症	1例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例
	侵襲性肺炎球菌感染症	11例	梅毒	12例(1)	播種性クリプトコックス症	1例(1)
	破傷風	1例	風しん	3例	麻しん	4例

()内は今週届出分、再掲